

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
	1 室内騒音レベル							
	2 設備騒音対策							
1.2 遮音								
	1 開口部遮音性能							
	2 界壁遮音性能							
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
	1 室温							
	2 負荷変動・追従制御性							
	3 外皮性能							
	4 ゾーン別制御性							
	5 温度・湿度制御							
	6 個別制御							
	7 時間外空調に対する配慮							
	8 監視システム							
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
	1 昼光率							
	2 方位別開口							
	3 昼光利用設備							
3.2 グレア対策								
	1 照明器具のグレア							
	2 昼光制御							
	3 映り込み対策							
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
	1 化学汚染物質							
	2 アスベスト対策							
	3 ダニ・カビ等							
	4 レジオネラ対策							
4.2 換気								
	1 換気量							
	2 自然換気性能							
	3 取り入れ外気への配慮							
	4 給気計画							
4.3 運用管理								
	1 CO ₂ の監視							
	2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能			0.43					3.0
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
	1 広さ・収納性							
	2 高度情報通信設備対応							
	3 バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
	1 広さ感・景観							
	2 リフレッシュスペース							
	3 内装計画							
1.3 維持管理								
	1 維持管理に配慮した設計							
	2 維持管理用機能の確保							
	3 衛生管理業務							
2 耐用性・信頼性		3.0	0.52					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
	1 耐震性	3.0	0.80					
	2 免震・制振性能	3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
	1 躯体材料の耐用年数	3.0	0.23					
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.23					
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.09					
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.08					
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.15					
	6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.48	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	階高8.3m		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.1		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			-	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.23	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.15	-	-	
4 通信配線の更新性			-	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.31	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.31	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.50	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR換算値=105%	-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.50	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=69%		4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照度が著しく高くなり、広範囲に光が漏れないように配慮した。		5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	